

防災まちづくり大賞

「防災まちづくり大賞」って何？

阪神・淡路大震災や東日本大震災など、近年の大規模な災害の教訓を踏まえて、防災・減災・住宅防火に関する優れた取組、アイデアなどを表彰し、災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として、平成8年に創設されたものです。



どんな取組を募集しているの？

次のいずれかに該当する取組を募集しています。

- 防災ものづくり : 防災関係の施設整備、道路や公園における防災面での配慮など
- 防災ことづくり : 自主防災活動、防災知識の普及啓発、広報活動など
- 防災ひとづくり : 防災に関わる人材の育成、災害対応能力を高めるための教育訓練、講座、研修など
- 防災情報 : ICTを駆使した災害・防災情報の収集、伝達体制の整備など
- 住宅防火 : 住宅防火対策を通じた、災害や火災に強いまちづくりの推進など

応募できるのはどんな団体？

- 地方公共団体
- 消防団・水防団
- 自主防災組織
- 少年・幼年消防クラブ
- 女性防火クラブ
- 企業・事業所
- 防災士会
- ボランティア団体・NPO団体
- 教育機関（小・中学校、高等学校、大学等）
- まちづくり協議会・社会福祉協議会・医療機関 など

※上記団体のほか、様々な団体が応募可能です（直接的な営利を目的とするものを除く）。

※過去に応募したものの受賞に至らなかった場合や、受賞実績がある場合でも、継続または発展させた取組を再度応募することができます。

どんな賞があるの？

「総務大臣賞」、「消防庁長官賞」、「日本防火・防災協会長賞」があります。

年間のスケジュールは？

7月～9月頃
募集期間

9月～1月頃
審査期間

2月～3月頃
表彰式



みなさまのご応募お待ちしております。詳しくは、消防庁「防災まちづくり大賞」のホームページをご覧ください。



主催：FDMA 総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

共催：（一財）日本防火・防災協会

防災まちづくり大賞

～ 過去の受賞事例 ～

地域に根ざす共生社会づくりを
活かした障害者と健常者が
共に学び共に行う防災訓練



【小矢部市障害者団体連絡協議会】
(富山県)

障害の種別や個人差等で救助の際の接し方、避難誘導方法が異なるため、障害者の方に聞き取りをして、障害の種別に分けた「障害の種類別対応方法」を作成した。

未来の消防団員へ
地域防災教育及び加入促進
～消防団×学校が最強タッグ～



【福崎町消防団・福崎町立田原小学校】
(兵庫県)

子どもに身近な地域の大人が消防団員として活躍している姿を見てもらうことにより、消防団をより一層身近に感じてもらうため、小学校と消防団が連携し、合同防災訓練や消防団見学を行った。

だれも失わない学校づくり



【中央大学杉並高等学校】
(東京都)

「だれも失わない学校づくり」をスローガンとして、大規模災害時に生徒のいのちを守るために、全生徒・全教職員が救命講習を受講、災害拠点病院との連携訓練及び全教室に防災備品を設置するなど、実践的な防災教育を行った。

建設業だからできること
土のうづくり体験



【一般社団法人愛知県建設協会】
(愛知県)

東日本大震災時に地元の建設業が道路啓開等を担ったという実績を踏まえ、社会貢献の一環として、防災に関する出前講座や土のう作り体験等を愛知県内の高等学校等で行った。